

家族介護が就業時間に与える影響 —メタ回帰分析による評価—

酒井正⁺ 深堀遼太郎⁺⁺

2015年1月

要旨

家族を介護する必要性から就業が断念される可能性について、各国で実証分析が蓄積されて来た。介護の内生性を考慮した比較的最近の研究には、家族介護が就業へ及ぼす影響は必ずしも大きくないとするものもあるが、分析によって影響の大きさが異なり、それらの差異をもたらす系統的な要因については必ずしも明らかになっていない。そこで、本稿では、介護が就業時間に与える影響をメタ回帰分析によって評価することを試みた。暫定的な結果からは、1) 操作変数法やパネル・データによって推定した研究では介護が就業時間に及ぼす効果が小さく推定される傾向にあること、2) 出版バイアスを考慮すると、純粋な介護の就業時間抑制効果は極めて小さいと予想されることがわかった。

⁺ 法政大学経済学部

⁺⁺ 慶應義塾大学大学院商学研究科後期博士課程・日本学術振興会特別研究員